

Rotary Club of Sanuma

2024-2025年度
VOL 61

週報

佐沼ロータリークラブ

佐沼ロータリークラブ
2024-2025テーマ

ロータリーの活動で
自分を変化させよう



会長 太田陽平
幹事 大畑好司
会報 猪股育夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼
☎22-8180 FAX22-0327

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

事務所 ホテルサンシャイン佐沼
☎22-8180 FAX22-0327



第2941回例会 2025. 1. 30 No.26

本日の出席率

・本日の出席率 87.23%

ニコニコボックス

- ・太田陽平会長 関孝会員の卓話楽しみにしています。
- ・富士原裕子会員 先日は傘寿のお祝いありがとうございます。関孝会員の卓話楽しみにしています。
- ・関孝会員 本日の卓話担当です。テーマは登米市の人物「佐沼の彫刻師・畠山登雲」についてです。よろしくお祈り致します。
- ・阿部泰彦会員 関孝会員のスピーチ楽しみです。
- ・菅野幸一郎会員 関孝会員のスピーチ、とても楽しみにしています。
- ・高田次雄会員 本日のスピーチは関孝会員、今日はどんなお話でしょうか。大変楽しみにしています。
- ・菅原慶一会員 関孝会員のスピーチに期待します。
- ・加藤亮会員 関孝会員の卓話、ご期待しております。
- ・伊藤幸子会員 本日は関孝会員の卓話、楽しみです。
- ・伊藤秀雄会員 関孝会員、卓話楽しみにしています。
- ・大畑好司幹事以下 本日のスピーチに期待して。
佐藤敬喜会員 千葉吉男会員 遠藤光則会員
佐々木源悦会員 岩渕正彦会員 熊谷敏明会員
山田正会員 小野寺伸浩会員 及川昭宏会員
杉田広仁会員 佐藤早智子会員 及川富男会員
千葉正宏会員 佐藤哲弥会員 佐藤利尚会員
村上正弘会員 及川幾雄会員 佐藤淳会員
渡辺光太郎会員 岡本健一会員
以上、ありがとうございます。

会長要件 太田陽平会長

先週の新年夜間例会では年祝会が行われました。年祝いの方々大変おめでとうございました。懇談では、若鯨さんの美味しい料理とお酒で会員の皆さんと楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

余興では、踊りあり、カラオケありで楽しませてい

たきました。突然の指名でも富士原裕子会員の素晴らしい踊りや新入会員を含むロータリーヤングチームによる楽しいカラオケなどをご披露していただきました。しかし、私がロータリーヤングチームには入れてもらえず見る側になったのは残念でした。

岡本健一親睦委員長をはじめとする委員会の皆さんご苦勞様でした。

本日例会終了後15時から、水の里ホールAbebisou大ホールにて、登米法人会、登米市産業振興会、宮城県経営者協会登米支部共催で、「脳トレ」で有名な東北大学加齢医学研究所の川島隆太教授をお招きして、新春講演会が開催されます。

演題は「脳に良い習慣・悪い習慣」～子どもの健全育成から認知症の予防まで～です。ご興味のある会員の皆さんの参加をお待ちしております。

幹事報告 大畑好司幹事

- ・川崎大師RCより 会報が届く
- ・仙北郷土タイムスより 新年号広告掲載の新聞が届く
- ・劇団ドリーム☆キッズ活動レポートが届く
- ・Rotary Magazine 2月号が届く

各委員会報告

- ・ロータリー財団委員会（佐藤敬喜委員長）
本日、ロータリー財団への寄付に対する申告用領収証をお渡し致しました。ご協力ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。
- ・職業奉仕委員会（村上正弘委員長）
ご案内しております三部門表彰者推薦の締切りは明日1月31日です。よろしくお願い致します。
- ・60周年総務委員会（及川昭宏委員長）
案内状発送について、郵便の部分は終わり、参加・不参加の返事が届きつつあります。メールの部分はこれから致します。ご報告まで。

・出席委員会（千葉吉男委員長）

各テーブルに2520地区のクラブ例会場資料をプリントして配布しております。参考にしてメイクアップをし、出席率向上にご協力下さい。

今週のスピーチ

「彫刻師 畠山登雲」 関 孝会員
今日は、登米市出身の彫刻師・畠山登雲という方が地元で大変活躍されたということで、その功績についてお話をさせていただきたいと思っております。

これにつきましては、佐沼郷土史研究会・遊佐英男様の「畠山登雲の業績を訪ねて」をロータリーの卓話でご紹介させていただきたいことをご遺族にお話ししましたところ快諾いただきましたので、ご紹介させていただきます。

迫町佐沼鉄砲丁に木彫の名人がいた。畠山登雲である。神社仏閣の彫刻をはじめ住宅の欄間などの制作をしていた。彼独特の意匠を凝らした作品は、今も燦然と輝いている。

登雲は、本名畠山直^{ただし}といい、明治40年(1907)中田町上沼字桜場の畠山孝治氏の三男として生まれた。幼少の頃から手先が器用で洋傘の骨で彫刻刀を作り、はんこを彫って友達に配っていたそうである。小学校6年生の時、仏像に興味を持ち、仏像づくりに夢中になってしまった。授業時間中、担任教師の目を盗み、机の下で仏像を彫っていたそうである。しかし、すぐに先生に知れることとなった。担任教師は、学業に取り組むように諭し、その仏像を取り上げた。二体の仏像は、見事なできばえであったので「よくやった」とほめたそうである。直の同級生船島昌雄が教師として母校桜場に赴任した折直の仏像が職員室に置いてあったので、この仏像を生家の畠山家に返還した。畠山家では、今も大事に保存している。

また、ある日の夕方のことである。堀の向こう岸を長い間じいっと見つめていたそうである。大きな蛙の動く様子を観察していたのだ。小さい頃から自然現象にも興味を持ち観察力が培われてきたように思われる。

直は、大正10年(1921)桜場尋常高等学校卒業。同年8月、彫刻師上山寅正に入門した。寅正は、福島県二本松出身の彫刻家で業界の第一人者として活躍していた。

宮大工の棟梁は、立派な建物を建築するために用材を吟味し、もてる技量を駆使し最善を尽す。そして建物の最後の仕上げは彫刻である。棟梁は、腕の良い彫刻師を求めた。上山寅正は、気仙大工に請われて北海道に渡り、多くの寺院の彫刻をした経験豊かな彫刻師である。県内では、仙台の定義山西方寺や古川の荒

尾神社の彫刻も担当している。登米市内では津山町の横山不動尊、佐沼の津島神社も上山寅正の彫刻である。彫刻は、造形美が求められるそうである。先ず師匠が図案を描き粗彫りをする。その後師匠の監督のもとに弟子が完成させるのだそうだ。

100年という年月が経つという津島神社が新しく改築されました。上山寅正と共に畠山直が彫刻したということが札に名を連ねておくことが確認されております。津島神社の拝殿は、大正12年に竣工しておりますが、本殿と拝殿に大正から昭和にかけて、東北を代表する彫物師だった上山寅正の作風を伝える彫刻が施されていることなどが評価され、国の有形文化財に指定されております。

神社仏閣の彫刻は、卓越した技術力が求められる。技術さえあればできるものでもないように思われる。いい加減な人物の成せる技で、できる筈はない。何せ神社仏閣を護る神様を制作するのであるから、高潔な人格を有する工人だけにできる技なのである。登雲の写真を見ると、職人氣質の芯の強さの中に優しい面差しがあり円満な人柄が窺える。

直は、厳しく長い間の修行を耐え抜き、昭和元年(1926)19歳で身上がりし、登雲と号し彫刻師として独立した。弟子時代からの手腕が認められたのか建築業界から注目され彫刻の依頼が絶え間なくあった。

田尻町沼部の陽山寺では、仕事の合間に煙草盆を作り、お世話になった門前の方に差し上げたそうである。煙草盆のふたに亀の彫刻をし、指でつまみやすくしてあり、見た目も良く使い勝手の良い名品である。煙草盆を頂いた方は、寺の仕事の傍ら作成したものは頂けないと、お寺に納めたそうである。その煙草盆が陽山寺で大事に保存されている。これらの事例から登雲の誠実さや円満な人柄が窺える。

登雲の主な彫刻

- 昭和9年 大崎市鳴子 温泉神社
- 昭和10年 加美郡中新田 瑞雲寺山門
- 昭和11年 栗原市瀬峰 一乗寺の屋根及び向拝
- 昭和12年 栗原市若柳上畑岡 旗置八幡宮拝殿
- 昭和12年 登米市佐沼 羽黒神社拝殿
- 昭和15年 加美郡中新田 瑞雲寺本堂
- 昭和17年 大崎市沼部 陽山寺本堂
- 昭和26年 登米市登米 養雲寺庫裡
- 昭和27年 登米市中田 大龍寺本堂及び位牌堂
- 昭和30年 栗原市瀬峰 観昌寺本堂屋根及び向拝
- 昭和30年 栗原市若柳 柳徳寺屋根及び向拝

その他、個人住宅の欄間の彫刻等多く制作している。

―登雲の彫刻の映像を見ながら説明していただきました。

○1月の定例理事会議事録(1月9日木)○

・議事内容

1. 新年移動例会について 1/23(木) 18:30~ 於:若鯨(はさま館) 会費:7,000円
年祝い対象会員5名、祈願は羽黒神社に依頼
アトラクションは千代の会初舞、カラオケ
2. 三部門表彰について 2/20(木) 村上正弘職業奉仕委員長が、対象者推薦をとりまとめる。
3. 台北西RC記念式典参加について
3/9(日)~12(木)3泊4日で訪台予定、現在11名の参加
検討の上、とりまとめる。